

.....

# 【第1回】新見駅周辺地域まちづくりワークショップ

～「新見駅周辺の現状・課題認識と強み・資源への気づき」と  
「まちづくりの方向性とテーマ」を考えよう！～

.....

日時：令和2年12月16日（水）  
18:30～20:00  
場所：新見市役所（南庁舎）

## 〈本日の内容〉

### ・開会

【約1分】 新見市（建設部 都市整備課）ご挨拶

説明  
【約10分】

- 1. ワークショップの目的と全体プログラムについて ..... 資料1
- 2. 新見駅周辺地域の現況について..... 資料2
- 3. 駅西エリア整備事業の概要について..... 資料3
- 4. 本日のワークショップの進め方について..... 資料4

目安時間 18:41

WS  
【約80分】

- 5. グループごとにワークショップ【65分】
  - ・自己紹介
  - ・ワーク①：新見駅周辺地域の現状・課題と強み・資源の洗い出し
  - ・ワーク②：まちづくりのテーマ・スローガンの検討

目安時間 19:45

- 6. 各グループ発表【15分】

目安時間 20:00

- 7. おわりに（次回の予告・ご案内）

### ・閉会

★次回（第2回）の予定：令和3年1月 実施予定

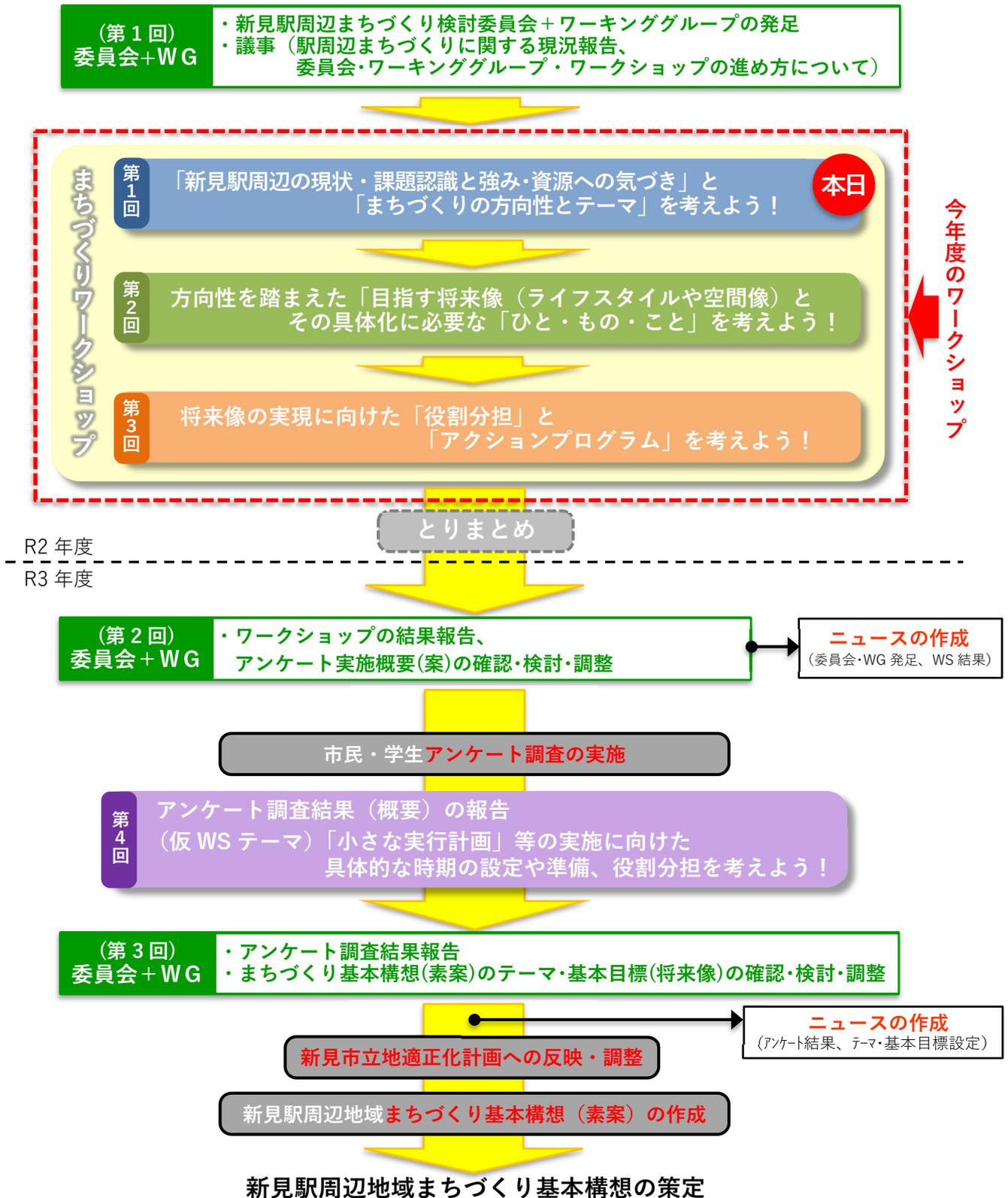
【テーマ】方向性を踏まえた「目指す将来像（ライフスタイルや空間像）」と  
その具体化に必要な「ひと・もの・こと」を考えよう！

## ■ワークショップの目的と全体プログラムについて

### 1. ワークショップの目的

新見駅周辺地域の現状・課題や上位関連計画を踏まえ、住民・事業者・新見公立大学・新見市の協働による新見駅周辺地域の都市機能の充実やにぎわい創出を目指したまちづくりの方向性の共有・取組み施策のアイデア出しを行い、まちづくり基本構想（案）検討の基礎とします。

### 2. 全体プログラムとその後の予定について



## ■新見駅周辺地域の現況について

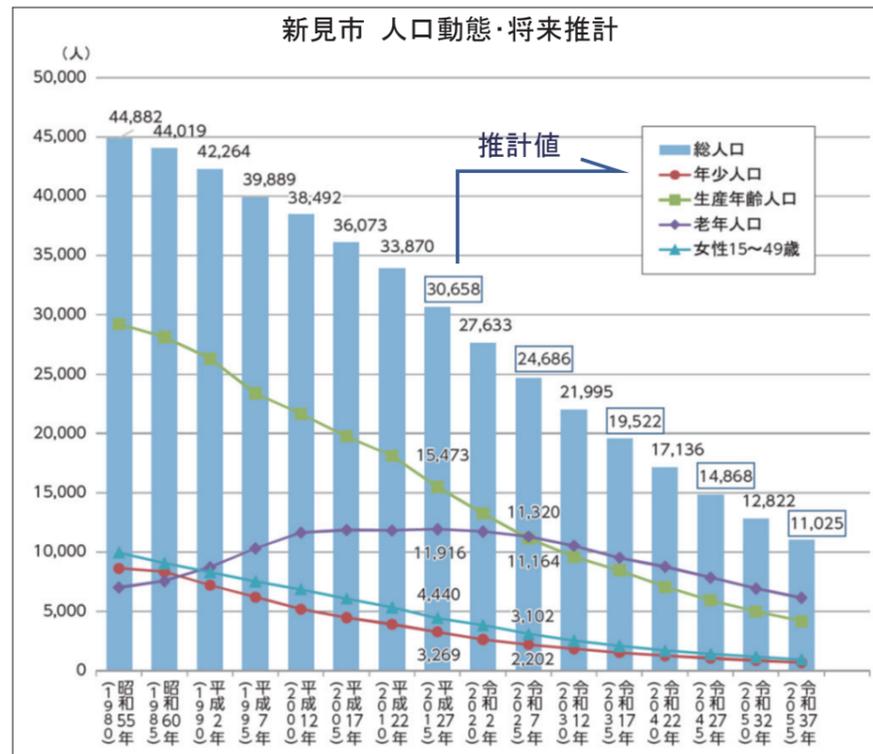
(新見駅周辺地域の人口動態や駅等利用者数の現状について)

**今までは** 山陽と山陰を結ぶ交通の要衝である新見駅を中心に、住宅や商店が集積し、本市の中心市街地として発展してきた。

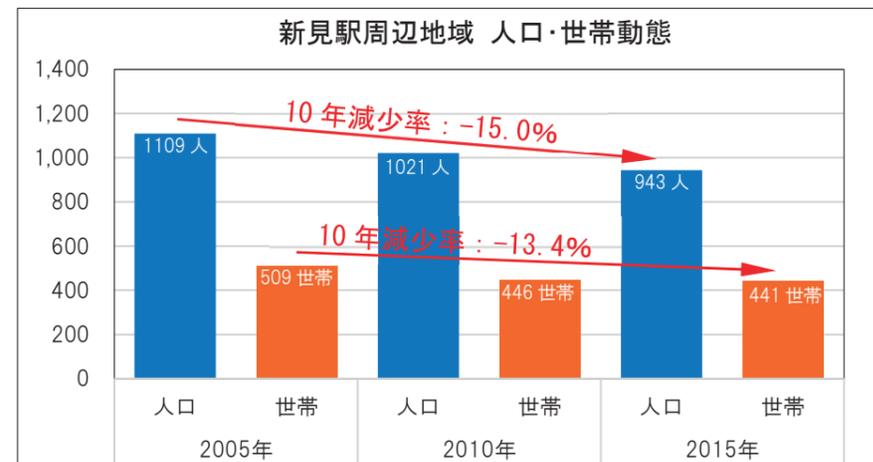
**しかし近年** 駅利用者の減少や商業構造の変化等が影響し、地域の活力低下が見られる。

空き店舗や空き家の増加    居住人口の減少

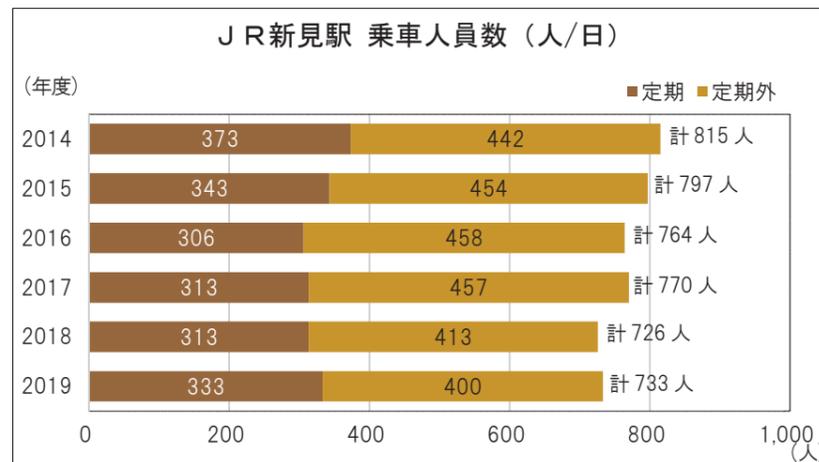
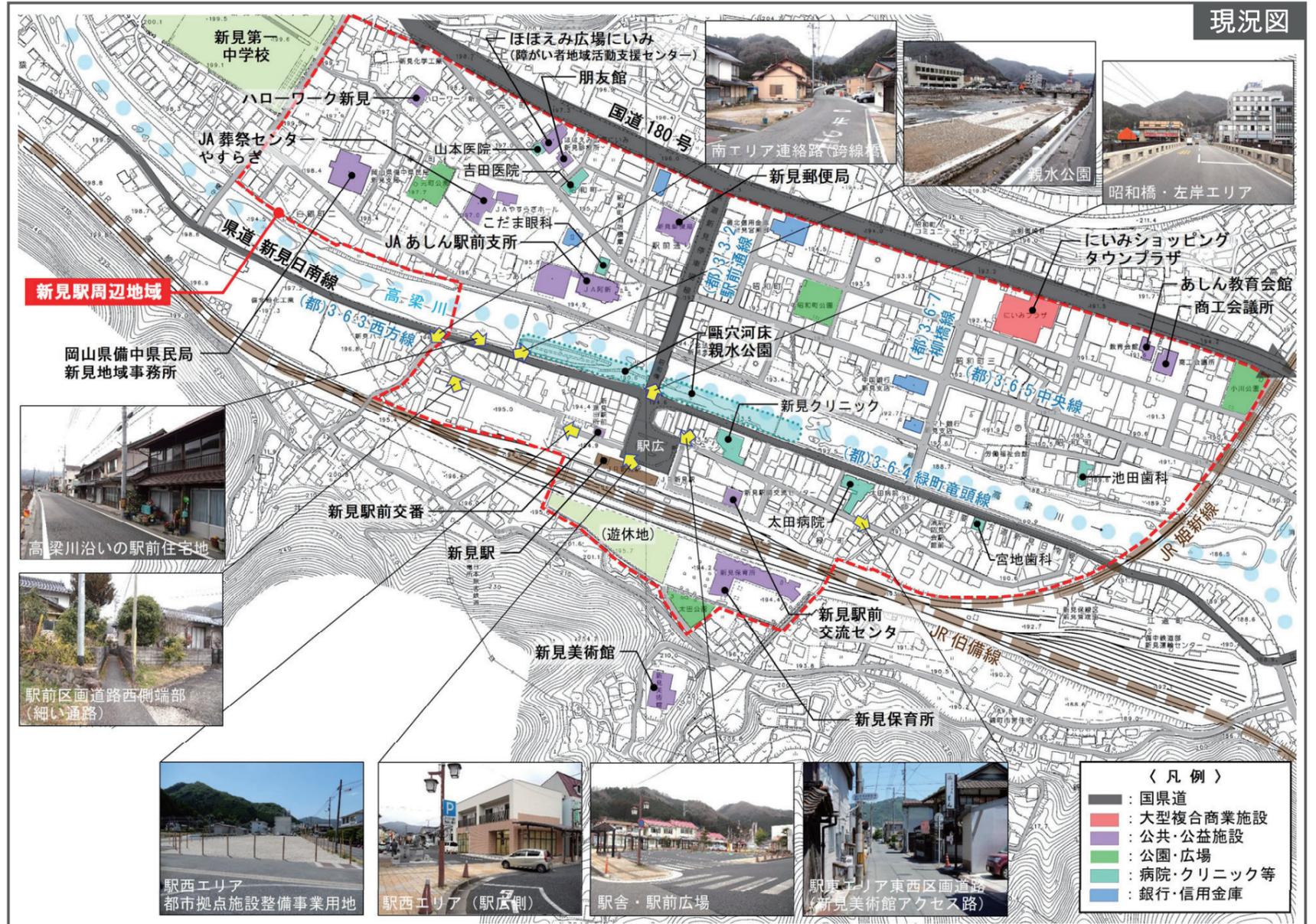
### 新見駅周辺の活力低下



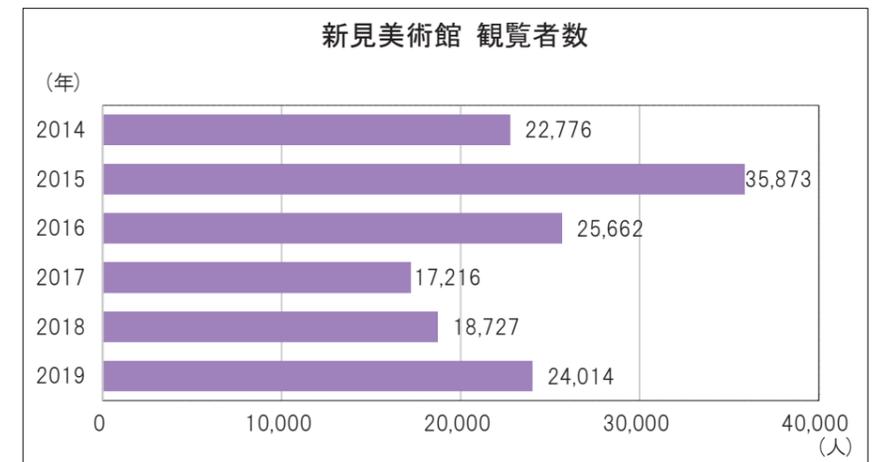
※国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所推計



※国勢調査



※JR西日本調べ



※岡山県観光客動態調査

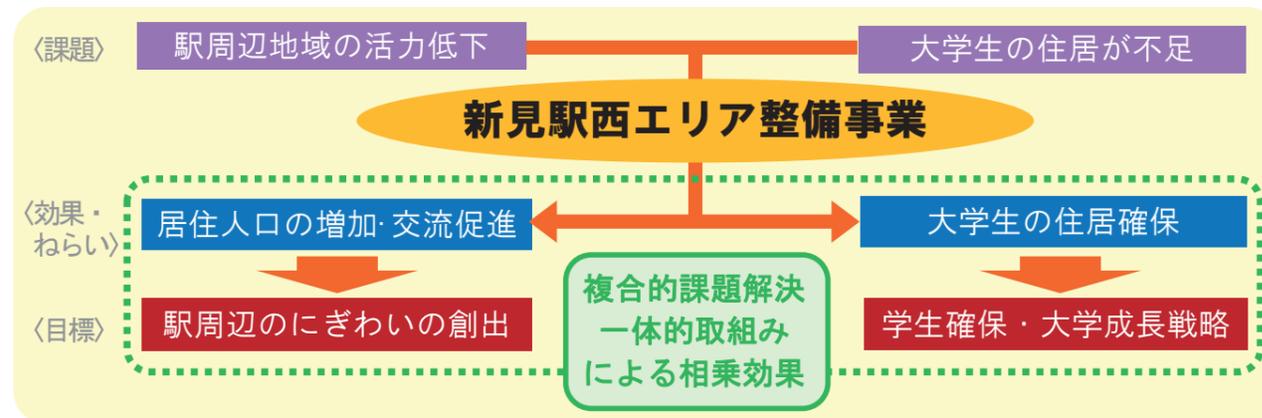
**事業の視点** 大学を活かしたまちづくり ～まちづくりに大学がある利点を活かす～

**まちづくり・事業の契機**

新見公立大学の4年制移行による学生数の増加（2022年度までに計：約260名増加）  
 （2019年度：+約20名、2020年度：+約20名、2021年度：+約120名、2022年度：+約120名）

**事業目的**（学生住居の確保 + 学生の駅前居住誘導・交流促進 → 駅周辺のにぎわい・交流創出）

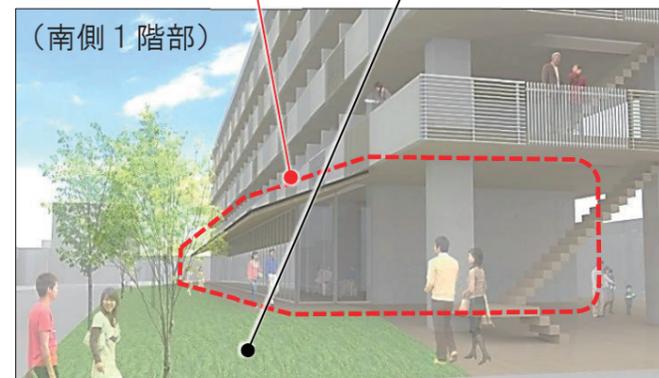
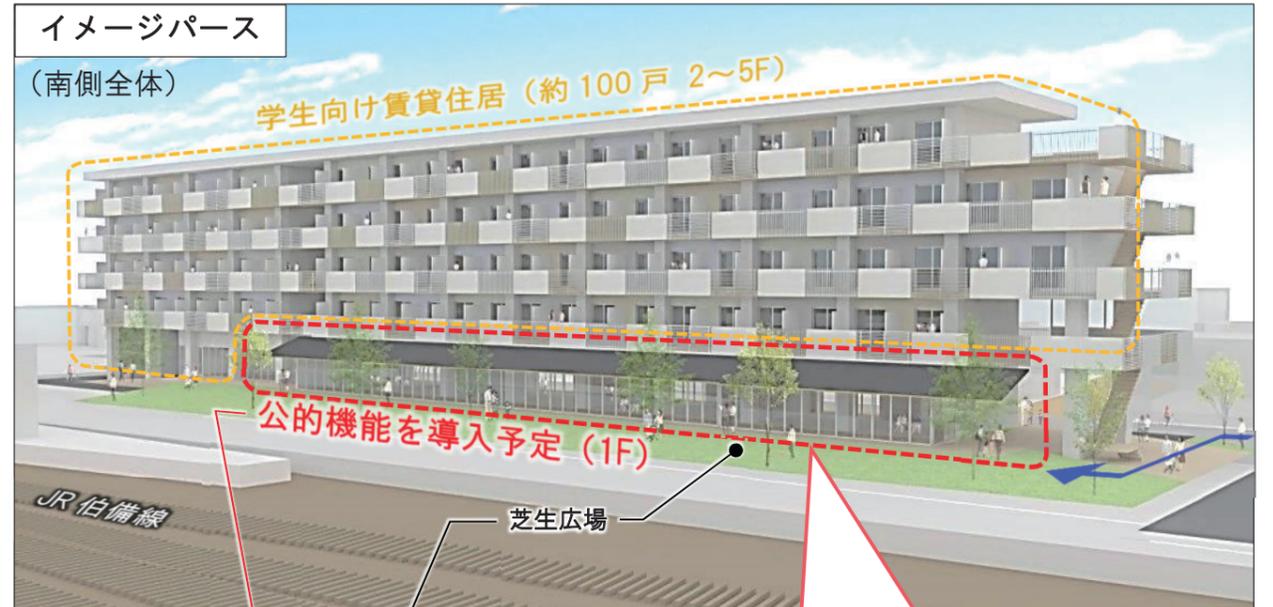
【体系図】



【事業概要】

■ 公募型プロポーザル方式での民間事業者による施設整備・管理・運営  
 → 特定事業者：法人グループ「緑樹グループ」（2019年9月特定）

学生と市民・学生同士の交流が生まれる学生居住棟の整備  
 （1階：公的機能を導入予定 2～5階：学生用住戸（約100戸））



- 【検討している活用方法 (例)】
- ・ 様々な課題を抱える子どもの支援施設
  - ・ 子どもが自由に遊べる場としての活用
  - ・ 市民が交流できる場としての活用
  - ・ 各種イベントの開催場所としての活用
  - ・ 災害時の避難場所 など



# ■本日のワークショップの進め方について

## 1. 本日のワークショップのテーマ

**第1回** 「新見駅周辺の現状・課題認識と強み・資源への気づき」と  
「まちづくりの方向性とテーマ」を考えよう！

## 2. ワークショップの進め方（自己紹介・ワーク①・②）

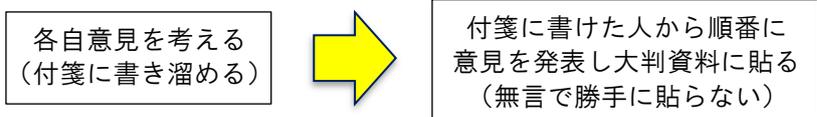
### 1) 自己紹介【約4分】

### 2) ワークの実施（意見出し・共有）

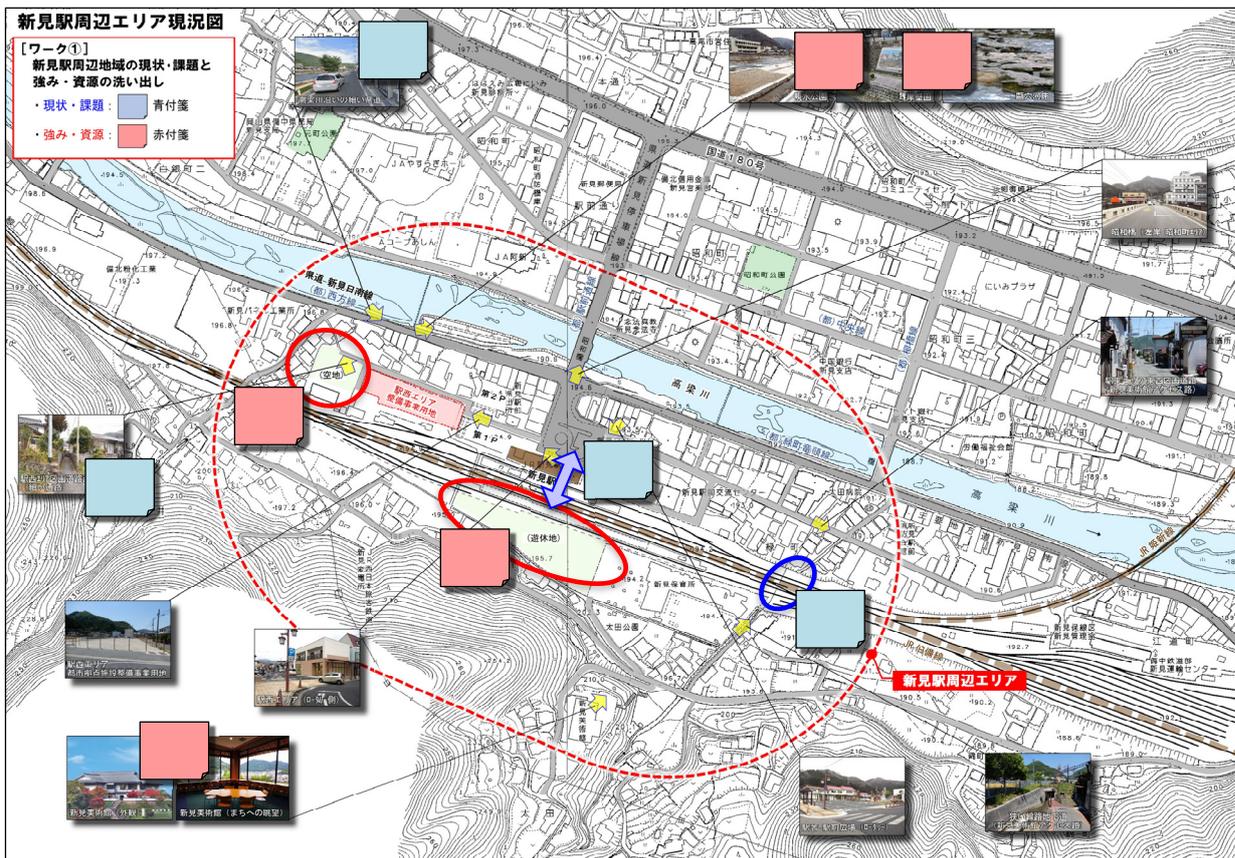
#### ワーク①：新見駅周辺地域の現状・課題と強み・資源の洗い出し【約20分】

・新見駅周辺地域の大判図面（A0）に新見駅周辺地域の「現状・課題」と「強み・資源」を考え、付箋に書き、発表し、貼り付ける。（適宜、矢印や範囲等についても書き加える）

- ・「現状・課題」の意見は → （青付箋  ）に書く
- ・「強み・資源」の意見は → （赤付箋  ）に書く



(大判ワーク用図面(A0用紙))



**ワーク②：まちづくりのテーマ・スローガンの検討【約40分】**

- ・上位計画（都市計画マスタープラン）の将来像「市の玄関口として、にぎわい・交流の創出及び子育てを支える都市環境づくり」を前提（基本軸）とし、テーマ・スローガンにつながるイメージワード出しを行った上で、ワンフレーズのテーマ・スローガンを考える。

※フレーズを考える足掛かりとして3つの言葉をつなぐ形のワークシートを準備していますが、前提となる都市マスの基本軸に沿っての自由な発想でのフレーズ検討も大いに可。

（大判ワークシート表（A0用紙））

（第1回）新見駅周辺地域まちづくりワークショップ

【ワーク②】まちづくりのテーマ・スローガンの検討		
【ステップ1】まちづくりのテーマ・スローガンにつながるイメージワード出し		
方向性・テーマの基本軸	誰のための？ （ターゲットイメージ）	どのような？ （形容詞イメージ、比喩的イメージ など）
市の玄関口		
にぎわい・交流		
子育て支援		
その他の視点 （芸術・文化等）		

【ステップ2】以下の2点に気を付けてテーマ・スローガンを考えよう！

①にぎわい・交流を生み出す・仕掛ける      ②子育て支援を組み込む

（誰による）

による

（例）産学官民

（誰のための）  
（何のための）

のための

（例）子育て世代・学生・市民・来街者

（どんなまちづくり）

まちづくり

（例）にぎわい・子育て

（～の連携で進める）

連携で  
進める

（例）産学官民の

（どういったことによる）

による

（例）ほっこりした にぎわいの創出と支え合い

（どんなまちづくり）

まちづくり

（例）まちなか子育て・交流ひろば

（誰のための）  
（何のための）

のための

（例）子育て世代・学生・市民・来街者

（どういったことを）

を

（例）ほっこりした にぎわいの創出・支え合い

（誰が進めるまちづくり）

まちづくり

（例）みんなで進め、みんなで実感できる

**3) 各グループ発表【15分】**

- ・ワークの終盤で事前に決めておいた代表発表者（参加者の中から1人 or 2人程度）によるグループワークの結果（大まかな意見の概要）について発表する。（1グループ5分程度）